

## 開催概要

平成20年度特定研究(国際学術)「CAMPベルリン」

研究代表者: 鰐澤達夫(芸術学部准教授)

研究分担者: 大井健次(芸術学部教授)、柳幸典(芸術学部准教授)、  
加治屋健司(芸術学部准教授)、岡本芳枝(芸術学部特別講師)、岩崎  
貴宏(芸術学部客員研究員)、古堅太郎(芸術学部客員研究員)、大橋  
実咲(芸術学部TA)、福田恵(芸術学部卒業生)、友枝望(芸術学部卒  
業生)、福永敦(芸術学部卒業生)、木村華苗(芸術学部卒業生)、川村  
恵理+宮崎申太郎(アートマネジメント)

期間: 2008年2月2日—2月10日

会場: 旧ベルリン市交通局中央整備工場

主催: 広島アートプロジェクト実行委員会

共催: 広島市立大学 ベルリン・ヴァイセンゼー美術大学

助成: ポーラ美術振興財団 国際交流基金 MarStam Gesellschaft

参加作家

トーマス・アデバー、アンドレア・ツィーママン+エンブファンクスハレ  
(コルビニアン・ベーム+ミヒャエル・グルーバー)

エリック・アルプラス+イレーネ・ペツーク

エディン・バイリッチ

マリー・ルイーゼ・ビルクホルツ

福田恵

古堅太郎

ニコラス・グリマー

ヒロミ+シゲ フジシロ

ジリアン・ホルト

入江早耶

開発好明

木村華苗

オフィリ・ラピド

パウリーナ・レオン

ジルビア・ローレンツ

ジルビア・ローレンツ+アレクサンドラ・ジェストロビツク・オラ・ジャ  
メスディン

増山士郎

沖中志帆

大津連

ダヴィッド・ボルツィン

ソフィア・ボンベリー

流水彩子

鹿田義彦

シフン製作所

高橋知奈美

友枝望

シラ・ヴァックスマン

カロリン・ヴァハター

ラウル・ヴァルヒ

マティアス・ヴェルムケ

マティアス・ヴェルムケ+ミーシャ・ラインカウフ



図1 トーマス・アデバー、アンドレア・ツィーママン、エンブファンクスハレ  
(コルビニアン・ベーム+ミヒャエル・グルーバー)  
《仲間はどこから、仲間はどこへ-故郷の感覚》2003-2006



図2 エリック・アルプラス+イレーネ・ペツーク  
《ヴァンデルング(ハイキング)》2008



図3 エディン・バイリッチ《死が我々を切り離すまで》2005 - 2008



図4 福田恵《よそ者としての-》2008

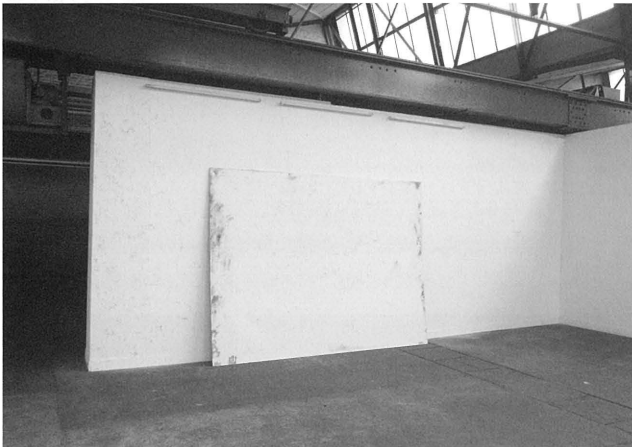


図5 古堅太郎《Untitled》2008

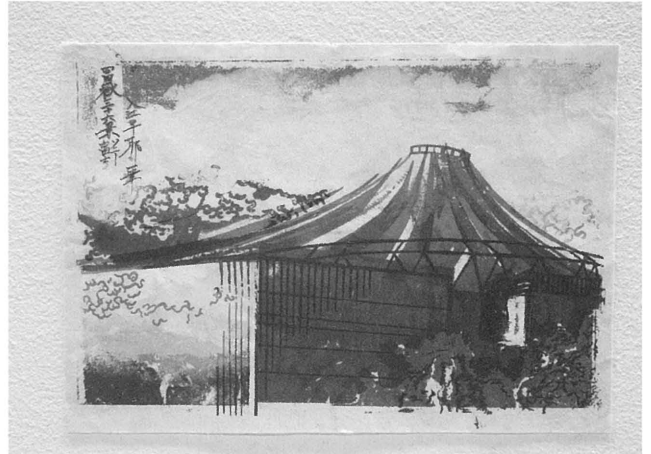


図6 入江早耶《ソニー富士》2008

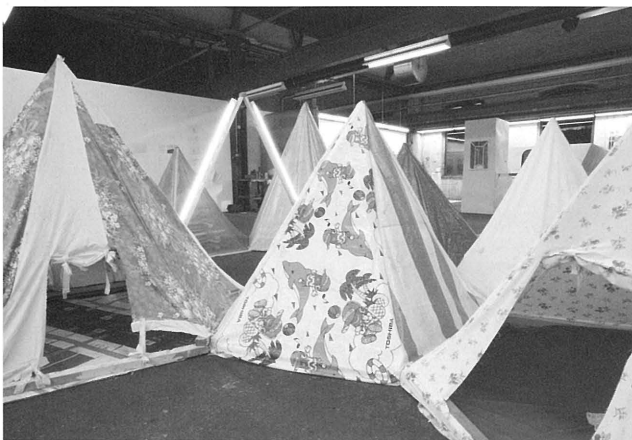


図7 開発好明《マウンテント》2008

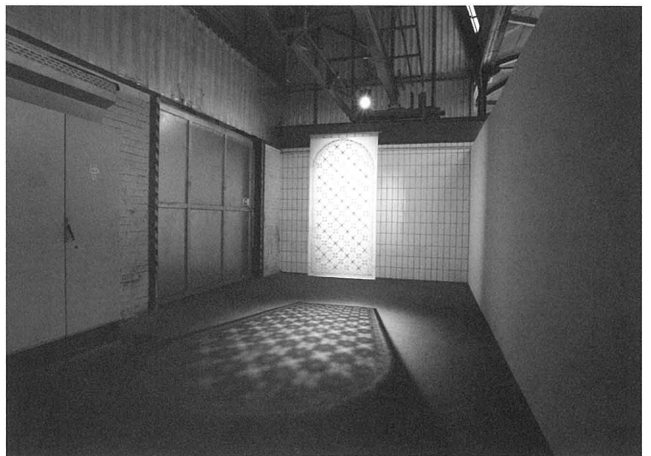


図8 木村華苗《Muster》2008



図9 オフィリ・ラピド《光のインスタレーション》2008

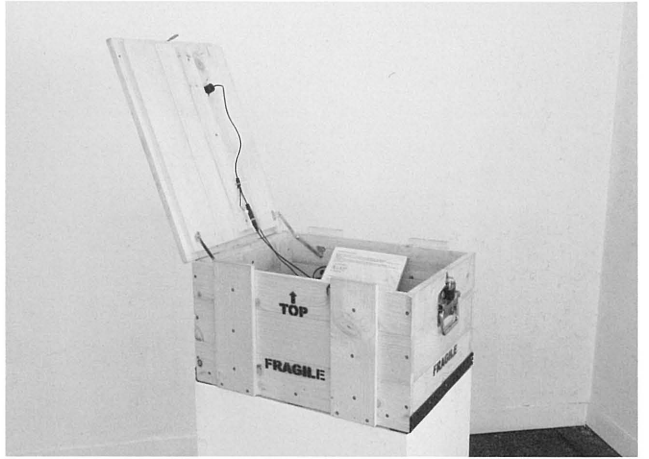


図10 増山士郎《MOVING (from Berlin to Hamburg)》2008

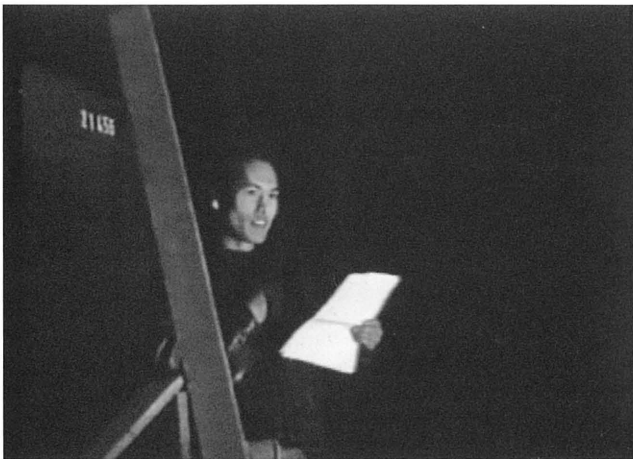


図11 大津達《UFOを呼ぶ》1995

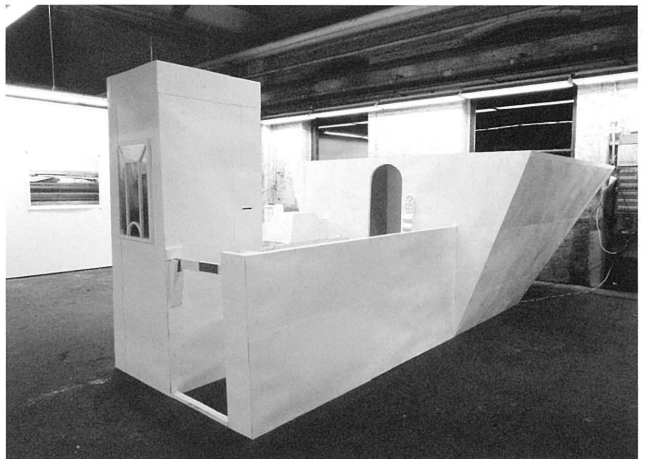


図12 ダヴィッド・ポルツィン《フェルテン I》2008



図13 鹿田義彦《ハトはどこへ消えた?》2008



図14 友枝望《民芸品移動》2008

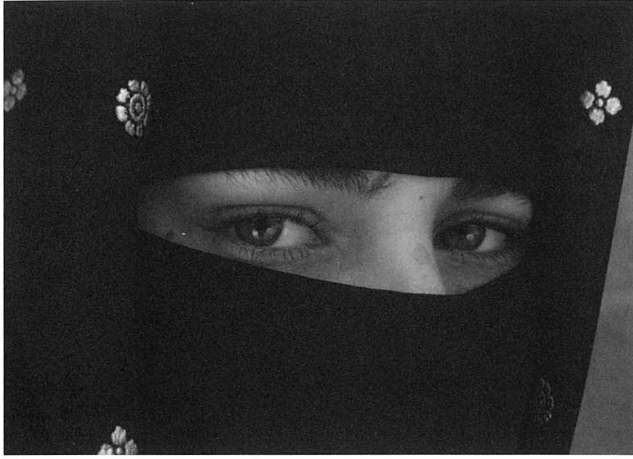


図15 シラ・ヴァックスマン《ゆがみ》2008



図16 ラウル・ヴァルヒ《エル エジド 2007》2007



図17 マティアス・ヴェルムケ+ミーシャ・ラインカウフ《ともかく、ありがとう》2006